



2026 年 9 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社テクノクラフト  
代表者名 代表取締役 梅坂 昌業  
(コード番号：622A 東証スタンダード市場)  
問合せ先 取締役 谷田 洋平  
(TEL. 0256-77-2570)

## 東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、2026 年 9 月 18 日に東京証券取引所スタンダード市場に上場いたしました。  
今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2026 年 9 月期（2025 年 10 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日まで）における当社の業績予想は、次のとおりであります。

【個 別】

(単位：百万円、%)

| 項目 \ 決算期                         | 2026 年 9 月期<br>(予想) |            |            | 2026 年 9 月期<br>第 3 四半期累計期間<br>(実績) |            | 2025 年 9 月期<br>(実績) |            |
|----------------------------------|---------------------|------------|------------|------------------------------------|------------|---------------------|------------|
|                                  |                     | 対売上<br>高比率 | 対前期<br>増減率 |                                    | 対売上高<br>比率 |                     | 対売上<br>高比率 |
| 売 上 高                            | 2,473               | 100.0      | 4.4        | 1,816                              | 100.0      | 2,370               | 100.0      |
| 営 業 利 益                          | 281                 | 11.4       | 212.9      | 234                                | 12.9       | 89                  | 3.8        |
| 経 常 利 益                          | 300                 | 12.1       | 180.4      | 251                                | 13.9       | 107                 | 4.5        |
| 当期（四半期）純利益                       | 198                 | 8.0        | 208.9      | 169                                | 9.4        | 64                  | 2.7        |
| 1 株 当 た り 当 期<br>（ 四 半 期 ） 純 利 益 | 46 円 37 銭           |            |            | 39 円 87 銭                          |            | 15 円 07 銭           |            |
| 1 株 当 た り 配 当 金                  | 0 円 00 銭            |            |            | 0 円 00 銭                           |            | 0 円 00 銭            |            |

- (注) 1. 当社は連結財務諸表及び四半期連結財務諸表を作成しておりません。  
2. 2025 年 9 月期（実績）及び 2026 年 9 月期第 3 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。  
3. 2026 年 7 月 1 日付で普通株式 1 株につき 5 株の株式分割を行っておりますが、2025 年 9 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期（四半期）純利益を算出しております。  
4. 2026 年 9 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は、公募予定株式数（426,000 株）を含めた期中平均発行済（予定）株式数により算出しております。なお、当該株式数にはオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（最大 288,900 株）は含まれておりません。

## 【2026 年 9 月期業績予想の前提条件】

### 1. 当社全体の見通し

当社は、研究開発を主軸に据えて、GPS 技術等の高度な知見を駆使し、人々が健やかに暮らせる社会基盤の構築に邁進しております。現在、当社が展開する三本柱のサービスは、いずれも「安心・安全・健康」への寄与を不変の根幹としており、新たな事業の創造を通じて複雑化する社会課題の解決に取り組んでおります。

当社を取り巻くゴルフ場関連業界におきましては、若年層やインバウンド客の増加による「ゴルフのカジュアル化」が定着し、市場は活況を呈しております。特に、人手不足への対応と顧客利便性の向上を両立させる DX（デジタルトランスフォーメーション）への投資意欲を感じ取り、カーナビ事業においては、最新の 11.5 インチ大型端末へのリプレイス提案を加速させ、業界の DX を強力に牽引しております。

幼保業界を対象とした「コミュナビ事業」におきましては、保育士不足の深刻化を背景に、ICT 利活用による業務負担軽減が不可避の課題となっております。こども家庭庁による事務作業の標準化指針の公表に加え、不適切な保育の防止に向けた登降園管理や保育記録の透明化・データ化が強く求められており、当社の提供する SaaS 型システムは、施設運営の「安全と信頼」を担保するインフラとしての役割を強めております。当社は現場の声を迅速に反映した機能アップデートを継続し、自治体連携の強化を図ることで、更なるシェア拡大に注力しております。

新規事業として位置付ける「健康見守り事業」におきましては、人的資本経営や医療 DX の進展を追い風に、社会実装が加速しております。医療機関・介護施設向け「バイタルナビ」では、管理医療機器認証を取得したスマートウォッチによるリアルタイム・モニタリングの需要が拡大いたしました。看護業務の自動化や退院後の在宅ケアとの連携において、医療従事者の負担軽減と患者の QOL 向上を両立するソリューションとして導入件数を伸ばしております。また、建設・運輸等の一般企業向けサービスにおきましては、酷暑の常態化に伴う熱中症対策や、労働時間管理・健康管理の厳格化を受け、従業員の体調異変を早期検知する「命を守る DX」としての評価が得られつつあります。位置情報と生体データを融合させた独自のプラットフォームは、新たな収益の柱へと成長することが期待されます。

また、原価・利益面につきましても、過年度より継続的に取り組んでまいりましたタブレット端末のリユース体制確立による運用コストの最適化、規模の優位性を活かした各種調達コストの低減、製品ラインナップの整理によるアフター・サービス費の低減などの様々な利益体質の改善策が結実し、株主他ステークホルダーの皆様からの期待に応えうる安定的な収益構造を築き上げつつあります。

以上を踏まえ、当社の 2026 年 9 月期の業績予想は、売上高 2,473 百万円（前期比 4.4%増）、営業利益 281 百万円（前期比 212.9%増）、経常利益 300 百万円（前期比 180.4%増）、当期純利益 198 百万円（前期比 208.9%増）を見込んでおります。

なお、第 3 四半期累計期間の実績は、売上高 1,816 百万円、営業利益 234 百万円、経常利益 251 百万円、四半期純利益 169 百万円となっております。

## 2. 業績予想の前提条件

以下の数値は、2026 年 5 月までは実績値、6 月以降は、期初に策定した予算値に業務効率化による原価・費用削減効果並びに予算外収益・費用の発生見込を織り込み算定しております。

### (1) 売上高

当社は、「ゴルフ関連事業」、「コミュなび事業」、「健康見守り事業」の 3 つを報告セグメントとしており、各セグメント別の業績予想の前提条件は以下のとおりであります。

#### ・ゴルフ関連事業

同事業のうち、主要な分野に関する前提条件は、以下の通りであります。

##### <カーナビ分野>

同事業のうち、主力のカーナビ分野の売上につきましては、収益形態(イニシャル・ランニング(例月発生)・ランニング(都度発生))毎に新規、リプレース案件獲得数や想定サービス単価などをもとに見込を立てております。

##### ・イニシャル

カーナビの初期導入にかかる売上であり、導入形態(新規・リプレース・他社リプレース)、販売形態(一括売り切り・レンタル)、季節的要因の 3 つの要素に基づき、過去実績、今後の市場動向等より、KPI としております獲得受注案件数を計画し、それに販売単価(前年同水準)を乗じて算出しております。

##### ・ランニング(例月発生)

導入後に発生するサブスクリプション型のリカーリング・レベニュー(継続的に発生する月額利用料収入)であり、当社によるクラウド上での保守・管理サービスや SIM の通信料などが含まれます。同売上は「ストック型ビジネス(顧客と継続的に契約を結び、月額料金や定期購入などによって中長期的に収益を積み上げていくビジネスモデル)」であり、期初の顧客数に、上記イニシャル販売により新たに獲得する顧客分を加味した累計顧客数にサービス単価を乗じて算出しております。

##### ・ランニング(都度発生)

カーナビの修理、移設、増設などによるスポット発生の売上であります。当社による営業戦略によらず、顧客たるゴルフ場側の意思により発生し、合理的な予測が困難であることから、前年実績を概ねスライドさせております。

同分野の全体的な概況といたしましては、市場が成熟期に入っているため、イニシャル売上の大幅な伸びは見込まないものの、サービス単価の一部値上げ等によるランニング(例月発生)売上の上昇を見込んでおります。

以上により同分野の売上高は、1,940 百万円(前期比 5.1%増)を見込んでおります。

##### <広告分野>

ゴルフカートに設置されたカーナビ並びに後部座席に設置されたデジタルサイネー

ジにおいて、広告主様から依頼された広告を配信し、収益を得るビジネスであります。

売上高につきましては、デジタルサイネージの設置台数の増加による商品価値の向上や社会認知度の向上により、KPI としております広告枠の稼働率上昇を見込んでおり、それに販売単価を乗じて計画しております。

以上により同分野の売上高は、157 百万円(前期比 6.2%増)を見込んでおります。

ゴルフ関連事業全体といたしましては、上記のほか、個人向けアプリ分野等の収益 44 百万円を含め 2,142 百万円(前期比 3.8%増)を見込んでおります。

#### ・ コミュなび事業

「コミュなび」は、全国の幼稚園・保育園・こども園等で運用される園業務支援総合システムであり、ゴルフカートナビで蓄積した GPS 技術を利用したバス運行管理を始め、出欠管理や園児の情報管理、精算管理等を行うための基幹システムであります。

収益構造としては、基幹システムの年間利用料売上並びに幼稚園・保育園・こども園等における各種イベント写真販売売上が大部分を構成しております。

基幹システムの年間利用料は、カートナビ分野のランニング(例月発生)売上同様、「ストック型ビジネス」であり、累計顧客数に販売単価を乗じて算出しております。

イベント写真販売売上は、季節によるイベントの多寡等を考慮し、売上の見込みを立てております。

全体的な概況といたしましては、売上高の約 60%を占める年間利用料の増加(前期比 5.7%増)を見込む一方、約 40%を占める写真販売の個人消費の低迷に基づく伸び悩み(前期比 4.1%減)から、ほぼ前年同様と見込んでおります。

以上により同事業の売上高は、280 百万円(前期比 1.4%増)を見込んでおります。

#### ・ 健康見守り事業

主に一般法人並びに医療機関向けに、従業員や患者などの関係者が装着したウェアラブルデバイスから収集したバイタルデータを法人側にて管理できるサービスを提供しております。

##### <一般法人向け>

収益形態は、カートナビ分野と同一(イニシャル・ランニング(例月発生))であるため、同様の手法により売上計画を策定しております。

全体的な概況といたしまして、新規市場への導入案件が多く、また 2025 年 6 月 1 日からの改正労働安全衛生規則施行に伴い、引き合い・受注が活発化するのは、下期(2026 年 4 月～2026 年 9 月)と見込んでおり、同期間に案件を集中させております。

以上により同分野の売上高は、27 百万円(前期比 9.5%増)を見込んでおります。

##### <医療機関向け>

医療業界は、当社にとって知見の浅い分野であるため、本格参入には更なる時間を要するものと認識しておりますが、12 百万円のソフトウェアの開発受託案件が発生いたしま

した。

以上により同分野の売上高は、23 百万円(前期比 343.2%増)を見込んでおります。

健康見守り事業全体といたしましては、50 百万円(前期比 66.9%増)を見込んでおります。

以上の結果、全体の売上高は 2,473 百万円(前期比 4.4%増)を見込んでおります。なお、第3四半期累計期間の実績は、売上高 1,816 百万円となっており、通期計画の達成に向けて堅調に推移しているものと認識しております。

## (2) 売上原価、売上総利益

以下の項目につきましては、セグメントを問わず同様の手法で算出しており、セグメント別の記載は省略いたします。

上述のとおり、当社は現在、全社を挙げての利益体質の改善に取り組んでおり、業績見込みの作成についても、過去実績の傾向から推測される原価から当該効率化・コスト削減策の効果による減少額を織り込んで算出しております。

費用項目別には、

原材料費(主にタブレットやカートへの取付金具など)は、個人アプリ分野におけるスマートウォッチ販売原価他の増加により 451 百万円(前期比 8.6%増)を見込んでおります。

労務費(給料手当、賞与、社会保険料、退職給付費用他)は効率化による残業時間削減により 154 百万円(前期比 1.0%減)を見込んでおります。

外注費は、業者切替によるカーナビ取付金具代の削減、その他協力会社と一体になっての効率化の推進により 186 百万円(前期比 23.0%減)を見込んでおります。

経費は、一括販売を希望する顧客の増加によるレンタルタブレットの減少や市場動向見極めのための広告配信端末設置の一時的な抑制による減価償却費の減少やソフトウェアの保守案件の減少により、782 百万円(前期比 8.4%減)を見込んでおります。

以上の結果、売上原価は 1,574 百万円(前期比 5.6%減)となり、また売上増を見込んだ結果、売上総利益 898 百万円(前期比 27.9%増)を見込んでおります。なお、第3四半期累計期間の実績は、売上原価 1,153 百万円、売上総利益 662 百万円となっております。

## (3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費についても、売上原価と同様の手法により算出しております。

人件費(給料手当、賞与、社会保険料、退職給付費用他)につきましては、若干の人員減と定期昇給の影響により、382 百万円(前期比 0.1%減)を見込んでおります。

経費につきましては、上場関連費用(証券会社への成功報酬、印刷会社への各種書類作成費用、新規上場料など)が発生する一方、採用計画の充足に基づく採用抑制による紹介料他の減少により、経費全体では 235 百万円(前期比 2.1%増)を見込んでおります。販売費及

び一般管理費全体では617百万円(前期比0.7%増)を見込んでおります。

以上の結果、営業利益は281百万円(前期比212.9%増)を見込んでおります。

なお、第3四半期累計期間の実績は、人件費232百万円、経費196百万円となり、販売費及び一般管理費全体では428百万円となっております。この結果、営業利益は234百万円となり、前年同期(65百万円)に比べ169百万円増となっております。その要因は上述の利益体質の改善(リカーリング・レベニューの増加を主因とする売上高増+72百万円、効率化による原価低減+63百万円・販管費低減+34百万円)によるものであります。

#### (4) 営業外損益、経常利益

営業外収益及び営業外費用につきましては、受取利息、為替差損益など毎期経常的に発生する実績をベースに、現時点で計上が確定しているものを追加で見込んでおります。営業外収益につきましては、従業員互助会の解散に伴う同会からの資産受贈益、地元自治体からの開発支援補助金などの一過性の収益を計上し、20百万円(前期比5.6%増)を見込んでおります。営業外費用につきましては、銀行からの資金調達による支払利息を計上し、2百万円(前期比14.8%減)を見込んでおります。

以上の結果、2026年9月期における経常利益は300百万円(前期比180.4%増)を見込んでおります。

なお、第3四半期累計期間の実績は、営業外収益20百万円、営業外費用2百万円、経常利益は251百万円となっております。

#### (5) 特別損益、当期純利益

特別損益については、業務用車両の売却損など現時点で計上が確定しているものを見込んでおります。法人税等及び法人税等調整額につきましては、その両者の税引前当期純利益に対する割合と法定実効税率との間に著しい差異がないと見込まれるため、税引前当期純利益に法定実効税率(34.26%)を乗じて算出しております。

以上の結果、2026年9月期における当期純利益は198百万円(前期比208.9%増)を見込んでおります。

なお、第3四半期累計期間の四半期純利益は169百万円となっております。

#### 【業績予想に関するご留意事項】

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

以上



## 2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年9月18日

上場会社名 株式会社テクノクラフト 上場取引所 東  
 コード番号 622A URL <http://www.tecraft.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 梶坂昌業  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 谷田洋平 (TEL) 0256(77)2570  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年9月期第3四半期の業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|               | 売上高   |   | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 四半期純利益 |   |
|---------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
|               | 百万円   | % | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円    | % |
| 2026年9月期第3四半期 | 1,816 | — | 234  | — | 251  | — | 169    | — |
| 2025年9月期第3四半期 | —     | — | —    | — | —    | — | —      | — |

|               | 1株当たり<br>四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり<br>四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
|               | 円 銭             | 円 銭                        |
| 2026年9月期第3四半期 | 39.87           | —                          |
| 2025年9月期第3四半期 | —               | —                          |

- (注) 1. 当社は2025年9月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2025年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2026年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。  
 2. 2026年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。  
 3. 2026年7月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2026年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 財政状態

|               | 総資産   | 純資産   | 自己資本比率 |
|---------------|-------|-------|--------|
|               | 百万円   | 百万円   | %      |
| 2026年9月期第3四半期 | 2,433 | 1,845 | 75.8   |
| 2025年9月期      | 2,204 | 1,675 | 75.9   |

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 1,843百万円 2025年9月期 1,673百万円

## 2. 配当の状況

|              | 年間配当金  |        |        |      |      |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
|              | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |
|              | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  |
| 2025年9月期     | —      | 0.00   | —      | 0.00 | 0.00 |
| 2026年9月期     | —      | 0.00   | —      |      |      |
| 2026年9月期(予想) |        |        |        | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

|    | 売上高   |     | 営業利益 |       | 経常利益 |       | 当期純利益 |       | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|-------|-----|------|-------|------|-------|-------|-------|----------------|
|    | 百万円   | %   | 百万円  | %     | 百万円  | %     | 百万円   | %     | 円 銭            |
| 通期 | 2,473 | 4.4 | 281  | 212.9 | 300  | 180.4 | 198   | 208.9 | 46.37          |

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 2026年9月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、前述の株式分割が行われたと仮定し、算出

しております。

3. 2026年9月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募予定株式数（426,000株）を含めた期中平均発行済（予定）株式数により算出しております。なお、当該株式数にはオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（最大288,900株）は含まれておりません。

## ※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

|                     |            |            |            |            |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年9月期3Q | 4,260,000株 | 2025年9月期   | 4,260,000株 |
| ② 期末自己株式数           | 2026年9月期3Q | 一株         | 2025年9月期   | 一株         |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計）    | 2026年9月期3Q | 4,260,000株 | 2025年9月期3Q | 一株         |

（注）1. 2025年9月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

2. 2026年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末発行済株式数」および「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 1. 経営成績等の概況 .....              | 2 |
| （1）当四半期累計期間の経営成績の概況 .....      | 2 |
| （2）当四半期累計期間の財政状態の概況 .....      | 3 |
| （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....   | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....         | 4 |
| （1）四半期貸借対照表 .....              | 4 |
| （2）四半期損益計算書 .....              | 6 |
| （3）四半期財務諸表に関する注記事項 .....       | 7 |
| （セグメント情報等の注記） .....            | 7 |
| （株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ..... | 7 |
| （継続企業の前提に関する注記） .....          | 7 |
| （キャッシュ・フロー計算書に関する注記） .....     | 7 |
| （重要な後発事象） .....                | 7 |

## 1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当第3四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

### （1）当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、賃上げの定着による所得環境の改善や個人消費の底堅さに支えられ、緩やかな回復基調を維持いたしました。政局においては、2026年2月の衆議院議員総選挙を経て発足した与党体制のもとで経済対策の具体化が進み、政治的安定性が確保されたことで、国内投資の活性化に向けた動きが広がっております。一方、世界経済に目を向けますと、米国トランプ政権による関税政策や通商交渉の展開を背景に、株式市場や為替相場ではボラティリティの高い状態が継続いたしました。特に円安基調の定着は、インバウンド需要のさらなる押し上げ要因となる一方で、原材料・エネルギーコストの高止まりを通じて国内企業の収益を圧迫する要因となっており、地政学リスクの長期化を含め、予断を許さない状況が続いております。

当社を取り巻くゴルフ場関連業界におきましては、若年層やインバウンド客の増加による「ゴルフのカジュアル化」が定着し、市場は活況を呈しております。特に、人手不足への対応と顧客利便性の向上を両立させるDXへの投資意欲は底堅く、カーナビ事業においては、プレーデータの分析に基づくコンサルティング機能や、基幹システム（基幹業務ソフト）とのリアルタイム連携による完全セルフ化支援など、付加価値の高いソリューションが競争力の源泉となっております。当社は最新の11.5インチ大型端末へのリプレイス提案を加速させ、業界のスマート化を強力に牽引いたしました。

幼保業界を対象とした「コミュなび事業」におきましては、保育士不足の深刻化を背景に、ICT利活用による業務負担軽減が不可避の課題となっております。こども家庭庁による事務作業の標準化指針の公表に加え、不適切な保育の防止に向けた登降園管理や保育記録の透明化・データ化が強く求められており、当社の提供するSaaS型システムは、施設運営の「安全と信頼」を担保するインフラとしての役割を強めております。当社は現場の声を迅速に反映した機能アップデートを継続し、自治体連携の強化を図ることで、更なるシェア拡大に注力いたしました。

新規事業として位置付ける「健康見守り事業」におきましては、人的資本経営や医療DXの進展を追い風に、社会実装が加速しております。医療機関・介護施設向け「バイタルナビ」では、管理医療機器認証を取得したスマートウォッチによるリアルタイム・モニタリングの需要が拡大いたしました。看護業務の自動化や退院後の在宅ケアとの連携において、医療従事者の負担軽減と患者のQOL向上を両立するソリューションとして導入件数を伸ばしております。また、建設・運輸等の一般企業向けクラウド型健康管理システムにおきましては、酷暑の常態化に伴う熱中症対策や、トラックドライバー等の時間外労働上限規制に伴う、いわゆる「2024年問題」に起因する労働時間管理・健康管理の厳格化を受け、従業員の体調異変を早期検知する「命を守るDX」としての評価が確立いたしました。位置情報と生体データを融合させた独自のプラットフォームは、安全衛生管理の標準的なソリューションとしての普及が進む中で、将来の収益の柱となるべく、売上規模の拡大が進んでおります。

その様な状況の中、当社の売上高につきましては、当第3四半期累計期間は、主力のカーナビ分野はリカーリング・レベニューを基盤とする収益構造への継続的な転換を図り、また大型案件の受注・リプレイスを促進し、オプション売上等も好調となりました。さらに広告分野における広告配信収入も好調となったことにより、前年同期間を超える売上高を確保いたしました。

コスト・利益面につきましては、営業損益につきましては、利益体質の改善策が結実し、大幅に前年同期を上回る結果となり、営業外損益につきましては、従業員互助会解散に伴う同会の資産移管ならびに当社が被った損害に対する受取補償金、地元自治体からの開発支援補助金などを営業外収益に計上したことにより、経常利益におきましても同様の結果となりました。特別損益につきましては、業務用車両の固定資産売却損を計上し、税金費用につきましては、大幅な利益（課税所得）の増加に伴い、前年同期より多額の法人税等を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,816,305千円となりました。営業利益は234,604千円、経常利益は251,883千円、四半期純利益は169,847千円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

#### （ゴルフ関連事業）

売上高につきましては、カーナビ分野におきましては、従来よりモニタサイズの大きい11.5インチカーナビが好評を博し、その他オプション販売にも注力いたしました。またゴルフカートの後部にサイネージを設置しての広告配信分野も伸ばいたしました。

コスト・利益面におきましても、様々な利益体質の改善策が結実し、大幅に前年同期を上回る結果となりました。

以上の結果、ゴルフ関連事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高1,562,830千円、営業利益441,115千円となりました。

（コミュナビ事業）

売上高につきましては、新規契約数を堅調に伸ばし、コスト・利益面では、サーバ利用料等の効率化・削減に取り組みました。

以上の結果、コミュナビ事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高212,424千円、営業利益28,634千円となりました。

（健康見守り事業）

売上高につきましては、新規契約数を堅調に伸ばし、コスト・利益面では、サーバ利用料等の効率化・削減に取り組みましたが、立ち上げから間もない事もあり、利益を計上するには至っておりません。引き続き市場からのニーズの取込に注力してまいります。

健康見守り事業の当第3四半期累計期間の業績は、売上高41,049千円、営業損失78,948千円となりました。

（2）当四半期累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期会計期間末における流動資産は1,450,445千円となり、前事業年度末に比べ154,536千円増加いたしました。これは主にコミュナビ事業における繁忙期売上にかかる電子記録債権の増加73,874千円、カーナビの分割販売による売掛金の増加50,315千円、将来の価格上昇などを見据えた11.5インチタブレットの買い押えなどによる原材料及び貯蔵品の増加58,336千円、自社ブランドスマートウォッチの販売による商品及び製品の減少42,036千円によるものであります。固定資産は982,667千円となり、前事業年度末に比べ73,650千円増加いたしました。これは主に新規ソフトウェアの開発による無形固定資産の増加73,410千円、減価償却による工具、器具及び備品の減少13,759千円によるものであります。この結果、資産合計は2,433,112千円となり、前事業年度末に比べ228,186千円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期会計期間末における流動負債は496,032千円となり、前事業年度末に比べ28,956千円増加いたしました。これは主に利益の大幅な増加による未払法人税等の増加46,032千円、コスト削減による買掛金の減少31,030千円、契約負債の増加30,855千円、冬季賞与に向け3ヵ月分の積立(前期末は6ヵ月分)をしたことによる賞与引当金の減少20,826千円によるものであります。固定負債は92,017千円となり、前事業年度末に比べ29,383千円増加いたしました。これは新潟市西蒲区巻に新設したオフィスの建設資金調達のための長期借入金18,071千円、退職給付引当金の勤務費用による増加11,366千円によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,845,061千円となり、前事業年度末に比べ169,847千円増加いたしました。これは四半期純利益による利益剰余金の増加169,847千円によるものであります。

以上の結果、資本金30,000千円、利益剰余金1,813,663千円、新株予約権1,398千円となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績見通しにつきましては、本日公表の「東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| 当第 3 四半期会計期間<br>(2026 年 6 月 30 日) |           |
|-----------------------------------|-----------|
| 資産の部                              |           |
| 流動資産                              |           |
| 現金及び預金                            | 485,375   |
| 売掛金                               | 372,642   |
| 電子記録債権                            | 81,483    |
| 商品及び製品                            | 53,859    |
| 仕掛品                               | 28,837    |
| 原材料及び貯蔵品                          | 390,529   |
| その他                               | 37,816    |
| 貸倒引当金                             | △ 100     |
| 流動資産合計                            | 1,450,445 |
| 固定資産                              |           |
| 有形固定資産                            |           |
| 建物（純額）                            | 102,763   |
| 工具、器具及び備品（純額）                     | 140,130   |
| その他（純額）                           | 73,128    |
| 有形固定資産合計                          | 316,022   |
| 無形固定資産                            |           |
| ソフトウェア                            | 381,331   |
| その他                               | 203,806   |
| 無形固定資産合計                          | 585,138   |
| 投資その他の資産                          |           |
| 長期前払費用                            | 17,625    |
| 繰延税金資産                            | 56,512    |
| その他                               | 7,368     |
| 投資その他の資産合計                        | 81,506    |
| 固定資産合計                            | 982,667   |
| 資産合計                              | 2,433,112 |

(単位：千円)

当第3四半期会計期間  
(2026年6月30日)

## 負債の部

## 流動負債

|               |         |
|---------------|---------|
| 買掛金           | 73,526  |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,285   |
| 未払法人税等        | 60,048  |
| 契約負債          | 214,311 |
| 賞与引当金         | 24,640  |
| その他           | 120,219 |

|        |         |
|--------|---------|
| 流動負債合計 | 496,032 |
|--------|---------|

## 固定負債

|         |        |
|---------|--------|
| 長期借入金   | 18,071 |
| 退職給付引当金 | 73,912 |
| その他     | 34     |

|        |        |
|--------|--------|
| 固定負債合計 | 92,017 |
|--------|--------|

## 負債合計

|         |
|---------|
| 588,050 |
|---------|

## 純資産の部

## 株主資本

|        |           |
|--------|-----------|
| 資本金    | 30,000    |
| 利益剰余金  | 1,813,663 |
| 株主資本合計 | 1,843,663 |

## 新株予約権

|       |
|-------|
| 1,398 |
|-------|

## 純資産合計

|           |
|-----------|
| 1,845,061 |
|-----------|

## 負債純資産合計

|           |
|-----------|
| 2,433,112 |
|-----------|

## (2) 四半期損益計算書

## 第 3 四半期累計期間

(単位：千円)

|              | 当第 3 四半期累計期間<br>(自 2025 年 10 月 1 日<br>至 2026 年 6 月 30 日) |
|--------------|----------------------------------------------------------|
| 売上高          | 1,816,305                                                |
| 売上原価         | 1,153,351                                                |
| 売上総利益        | 662,953                                                  |
| 販売費及び一般管理費   | 428,349                                                  |
| 営業利益         | 234,604                                                  |
| 営業外収益        |                                                          |
| 受取利息         | 1,073                                                    |
| 受取配当金        | 3                                                        |
| 受取補償金        | 2,501                                                    |
| 補助金収入        | 5,000                                                    |
| 従業員互助会資産受贈益  | 9,108                                                    |
| その他          | 2,421                                                    |
| 営業外収益合計      | 20,108                                                   |
| 営業外費用        |                                                          |
| 支払利息         | 623                                                      |
| 株式交付費        | 942                                                      |
| 賃貸費用         | 790                                                      |
| その他          | 473                                                      |
| 営業外費用合計      | 2,829                                                    |
| 経常利益         | 251,883                                                  |
| 特別損失         |                                                          |
| 固定資産売却損      | 598                                                      |
| その他          | 0                                                        |
| 特別損失合計       | 598                                                      |
| 税引前四半期純利益    | 251,284                                                  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 73,226                                                   |
| 法人税等調整額      | 8,211                                                    |
| 法人税等合計       | 81,437                                                   |
| 四半期純利益       | 169,847                                                  |

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当第3四半期累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

|                       | 報告セグメント     |              |             |           | 調整額<br>(注1) | 四半期損益計算<br>書計上額(注2) |
|-----------------------|-------------|--------------|-------------|-----------|-------------|---------------------|
|                       | ゴルフ関連<br>事業 | コミュニナビ<br>事業 | 健康見守り事<br>業 | 計         |             |                     |
| 売上高                   |             |              |             |           |             |                     |
| 外部顧客への売上高             | 1,562,830   | 212,424      | 41,049      | 1,816,305 | —           | 1,816,305           |
| セグメント間の内部<br>売上高又は振替高 | —           | —            | —           | —         | —           | —                   |
| 計                     | 1,562,830   | 212,424      | 41,049      | 1,816,305 | —           | 1,816,305           |
| セグメント利益又は損<br>失(△)    | 441,115     | 28,634       | △78,948     | 390,801   | △156,196    | 234,604             |

(注1)セグメント利益又は損失(△)の調整額△156,196千円には、報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2)セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間にかかる四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間にかかる減価償却費(無形固定資産にかかる償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| 当第3四半期累計期間<br>(自2025年10月1日<br>至2026年6月30日) |           |
|--------------------------------------------|-----------|
| 減価償却費                                      | 186,743千円 |

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2026年5月26日開催の取締役会決議に基づき、2026年7月1日付で株式分割を行っております。

## (1) 株式分割の目的

投資家の利便性の向上ひいては当社株式の流動性向上を目的としております。

## (2) 分割の割合及び時期

2026年6月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載された株主の所有株式数を1株につき5株の割合をもって分割いたしました。また株式分割の効力発生日は2026年7月1日であります。

## (3) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数      普通株式      852,000株

|                |      |             |
|----------------|------|-------------|
| 株式分割により増加する株式数 | 普通株式 | 3,408,000株  |
| 株式分割後の発行済株式総数  | 普通株式 | 4,260,000株  |
| 株式分割後の発行可能株式総数 | 普通株式 | 15,000,000株 |